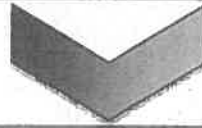


民事執行法の改正により入札時に
次の書面の提出が必要になりました。



暴力団員等に
該当しない旨の

陳 述 書

入札する日において発行後 3 か月以内の

住民票 資格証明書

(個人の場合)

(法人の場合)

宅地建物取引業の免許証のコピー

(宅地建物取引業者の場合)

※入札時に、入札書ごとに陳述書、住民票・資格証明書を提出しないと入札が無効になります。

※住民票・資格証明書は、入札する日において発行後 3 か月を超えるものを提出した場合、入札が無効となります。

※記載に不備があった場合、入札が無効になることがあります。

【入札方法に関する問合せ】

東京地方裁判所民事第 2 1 部（民事執行センター）執行官室不動産部

☎03-5721-6395

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 10 月 22 日

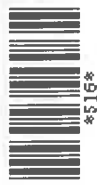
東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 出 崎 恵

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 11 月 6 日 午前 9 時 00 分から 令和 7 年 11 月 13 日 午後 5 時 00 分まで
開札期日	日 時 令和 7 年 11 月 19 日 午前 9 時 30 分 場 所 東京地方裁判所民事執行センター売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 11 月 28 日 午前 11 時 00 分 場 所 東京地方裁判所民事第 21 部
特別売却 実施期間	令和 7 年 11 月 20 日 午前 9 時 20 分から 令和 7 年 11 月 25 日 午後 5 時 00 分まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 10 月 22 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	47,360,000 37,888,000		9,472,000	102,327	21,926



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 文京区小石川二丁目 24 番地 20

建物の名称 セレナハイム小石川西館

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 小石川二丁目 24 番 20 の 303

建物の名称 303

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造 1 階建

床 面 積 3 階部分 56.14 平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 文京区小石川二丁目 24 番 20

地 目 宅地

地 積 880.67 平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 249555 分の 5959



物 件 明 細 書

令和 7 年 9 月 29 日

東京地方裁判所民事第 21 部

裁判所書記官 出 崎 恵

1 不動産の表示

【物件番号 1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 1】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tシステムのお知らせメニューにも掲載されています。



物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 文京区小石川二丁目24番地20

建物の名称 セレナハイム小石川西館

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 小石川二丁目24番20の303

建物の名称 303

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 56.14平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 文京区小石川二丁目24番20

地 目 宅地

地 積 880.67平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 249555分の5959



令和 7 年 (又) 第 1 4 1 号
令和 7 年 7 月 1 6 日受理
令和 7 年 8 月 22 日提出
(評価人 野坂啓介)

現 況 調 査 報 告 書

東京地方裁判所
執行官 平 良 栄 一 郎

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 文京区小石川二丁目24番地20

建物の名称 セレナハイム小石川西館

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 小石川二丁目24番20の303

建物の名称 303

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 56.14平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 文京区小石川二丁目24番20

地 目 宅地

地 積 880.67平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 249555分の5959



不動産の表示		「物件目録」のとおり	
住居表示		東京都文京区小石川二丁目3番16-303号 セレナハイム小石川西館	
建物		物件1	
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を居宅として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
管理費等の状況	管理費等の月額下記のとおり 管理費 13,100円 修繕積立金 10,790円 円 円	令和 7年 8月14日現在 ☒ 滞納はない ☐ 滞納がある 年 月分～ 年 月分 計 円 ☐ 不明	
管理費等照会先	株式会社サニーライフ		
その他の事項			
敷地権		符号1	
現況地目	☒ 宅地（符号1） ☐ 公衆用道路（符号 ） ☐ （符号 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
敷地権の種類	☒ 所有権（符号1） ☐ 地上権（符号 ） ☐ 賃借権（符号 ） ☐ （符号 ）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある	{ 地方裁判所 保管開始日	支部 平成 年（ ）第 号 年 月 日
敷地権以外の土地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
建物所有者	本件建物は、私が住居として使用しています。 本件建物の不具合としては、トイレのウォシュレットが壊れていて水が漏れています。 また、トイレのスイッチも壊れています。 (令和7年8月14日電話聴取)

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

執 行 官 の 意 見

- 1 本件対象物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付写真のとおりである。
- 2 令和7年8月21日解錠の上、本件建物内に立ち入ったところ、関係人の陳述、次に掲げた理由及び現場の状況から、本件建物は、建物所有者が住居として使用し占有しているものと認定した。
 - (1) 集合郵便受けの表示が建物所有者のものであること
 - (2) 建物内に建物所有者宛の郵便物が存在すること
 - (3) ライフライン調査の結果
 - (4) 室内に建物所有者以外の者の占有の徴表となるものが見受けられないこと
- 3 評価人の調査によれば、符号1の土地に東側、北側及び西側で接する道路は全て区道であるが、東側が建築基準法42条1項1号道路、北側及び西側の道路は建築基準法42条1項2号道路とのこと
- 4 以上の調査結果から、2枚目記載のとおり報告する。

以 上

調 査 の 経 過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
7年7月16日 : - :	当庁 (郵便)	■ライフライン調査
7年8月12日 14:50-15:00	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■建物使用者に対し通知書差置
7年8月13日 : - :	当庁 (電話・FAX)	■管理会社に対し管理費等の照会
7年8月14日 : - :	当庁 (電話)	■建物所有者から電話聴取
7年8月21日 12:40-13:00	物件所在地	■物件確認 ■物件調査 ■占有調査 ■写真撮影 ■図面作成 ■評価人同行
年 月 日 : - :		
年 月 日 : - :		

(特記事項)

☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行させて臨場した。

■ 令和 7年 8月21日
目的物件は不在で施錠されていたので、立会人Aを立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。

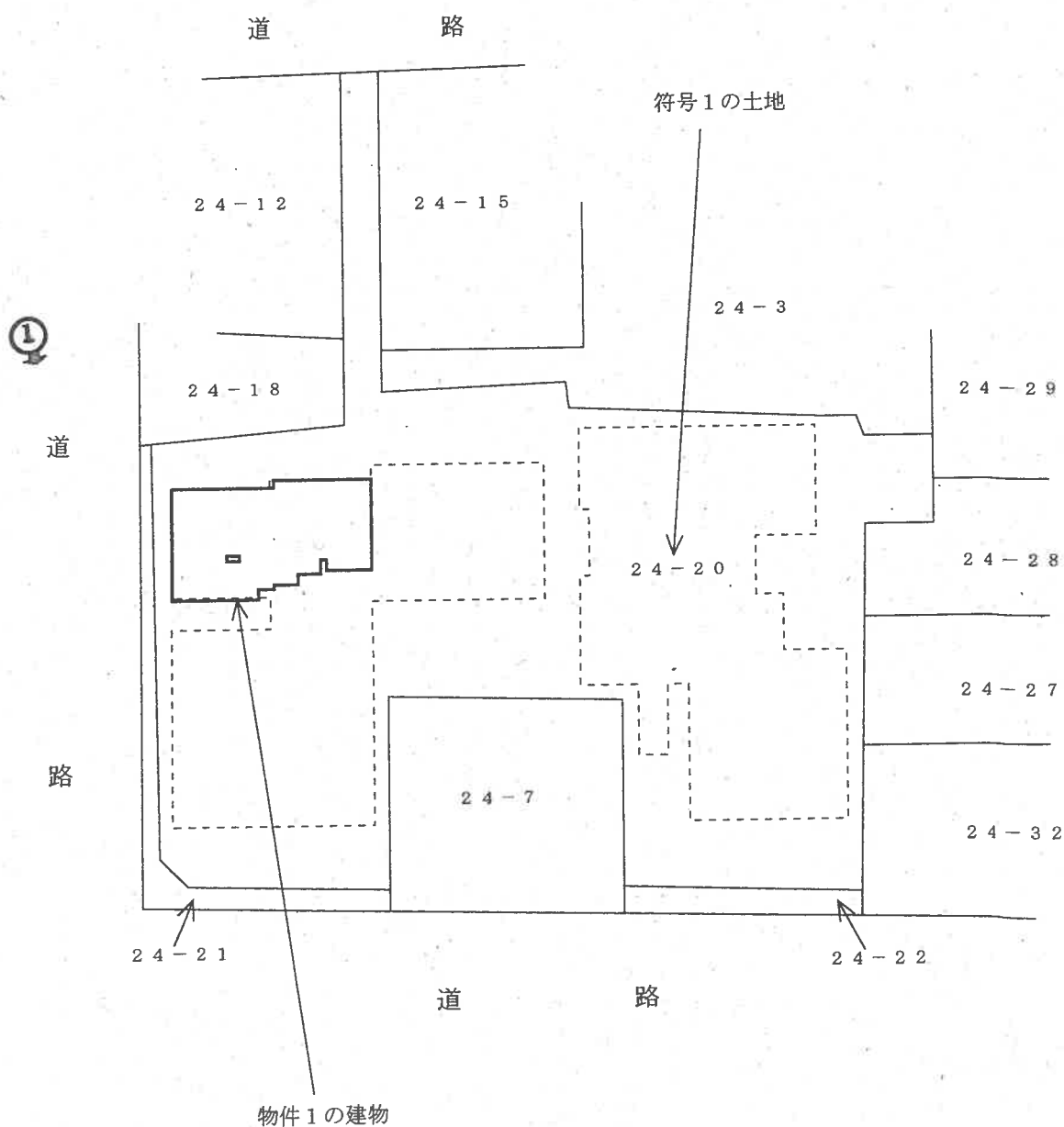
☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

(写真3葉添付)

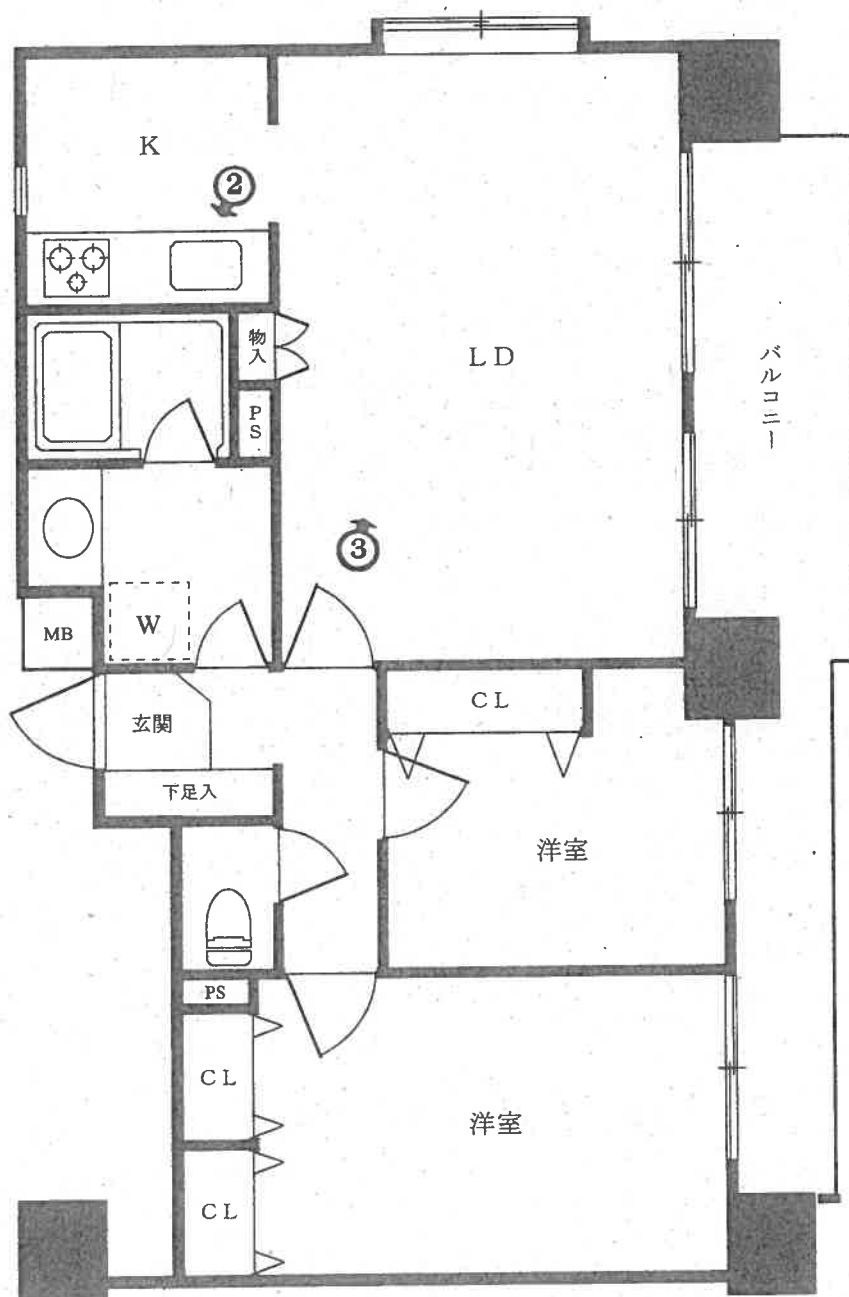
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

(土地建物位置関係図)

令和7年(又)第141号



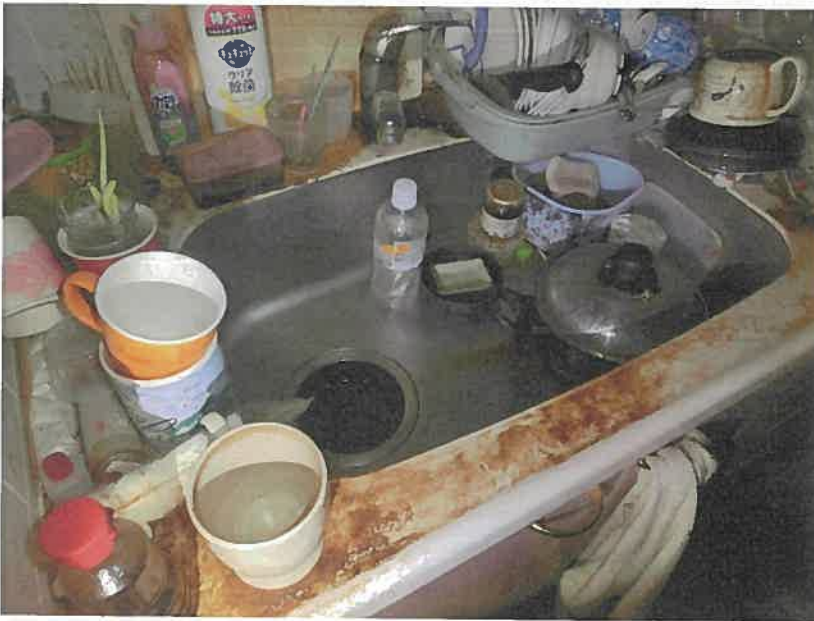
303



←○: 写真撮影位置と方向



1



2



3

令和 7 年 (又) 第 141 号
令和 7 年 8 月 21 日 現地調査
令和 7 年 9 月 16 日 評 価

東京地方裁判所 御中

評 価 書

評 価 人 野 坂 啓 介

第1 評価額

物件番号	評価額
物件1	金 47,360,000円

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり		(住居表示) 文京区小石川2丁目3番16 (マンション名、部屋番号) セレナハイム小石川西館 303号室
番号	特 記 事 項		
	なし		

* 現況欄に記載のない事項については、登記記録とほぼ同じである。

物 件 目 録

1 (一棟の建物の表示)

所 在 文京区小石川二丁目24番地20

建物の名称 セレナハイム小石川西館

(専有部分の建物の表示)

家屋 番号 小石川二丁目24番20の303

建物の名称 303

種 類 居宅

構 造 鉄筋コンクリート造1階建

床 面 積 3階部分 56.14平方メートル

(敷地権の目的である土地の表示)

土地の符号 1

所在及び地番 文京区小石川二丁目24番20

地 目 宅地

地 積 880.67平方メートル

(敷地権の表示)

土地の符号 1

敷地権の種類 所有権

敷地権の割合 249555分の5959

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

位置・交通	東京メトロ南北線「後樂園」駅の北西方道路距離約150m(徒歩約2分)、文京区小石川2丁目3番街区に位置する。(附属資料「位置図」参照)	
付近の状況	中高層共同住宅と一般住宅住が建ち並ぶ住宅地域	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 用途地域 建ぺい率 容積率 防火規制 その他の規制	市街化区域 準工業地域 60%(指定) 300%(指定) 準防火地域 特別工業地区 22m 第三種高度地区 日影規制(5時間、3時間)4m
画地条件	地積 形状 間口・奥行 地勢 その他	880.67㎡(登記記録) 不整形 北側約24m・約40m ほぼ平坦 ※1 特になし
接面道路の状況等	北幅員約7.3m区道(建築基準法第42条1項2号該当)、西幅員約3.9m～4.6m区道(建築基準法第42条1項2号該当)、東幅員約4.8m区道(建築基準法第42条1項1号該当)に接面する三方路の画地。※1	
土地の利用状況等	物件1を含む一棟の建物敷地等として利用している。建物の配置は、附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。	
供給処理施設 (基本的には敷地内への引き込みの有無を基準としている)	上水道 都市ガス 下水道	あり あり あり
敷地権の表示	敷地権の種類 敷地権の割合	所有権 249,555分の5,959

特 記 事 項	※1 敷地の東側は幅員2mの通路状の形状となっており、東側区道に接道している。しかしながら、通路部分とその他の敷地の間には擁壁が設置されているため、当該通路部分の通行はできない。
---------	---

2 建物の概況

(1) 一棟の建物の概要

マ ン シ ョ ン 名	セレナハイム小石川西館		
建 物 の 用 途	共同住宅（総戸数 40 戸、管理員室を含む）		
建 築 時 期 及 び 経済的残存用年数	建築年月日（登記記載）	平成11年10月19日新築	
	経 過 年 数	約 26 年	
	経済的残存耐用年数	約 29 年	
構 造 ・ 延 床 面 積	鉄筋コンクリート造陸屋根 9 階建 延床面積 2,725.59 m ²		
仕 様	外 壁 そ の 他	タイル貼等 なし	
設 備 等	エレベーター、オートロック、集合郵便受、宅配ボックス、ゴミ置場、駐車場、駐輪場、管理室等		
建 物 の 品 等	普通		
管 理 の 形 態 等	管 理 組 合	あり	
	管 理 会 社	株式会社サニーライフ	
	管 理 形 態	委託	
管 理 の 状 況	普通		
特 記 事 項	※2 文京区役所にて取得した建築確認等台帳記載事項証明書に記載されている概要は下記のとおり。 確認（許可）年月日：平成11年7月15日 確認番号：第173号 検査済証発行年月日：平成11年10月29日		

(2) 専有部分の概要

構 造 ・ 種 類	鉄筋コンクリート造 1 階建・居宅	
位 置	3階 (303号室) 角部屋 主要開口部の方位：東向き	
床 面 積	専 有 面 積	56.14㎡
	共用部分を含む 現 況 床 面 積	65.57 ㎡
間 取 り	2 L D K	
バルコニー等	東側にあり	
仕 様	天井	ビニールクロス貼等
	床	フローリング等
	内壁	ビニールクロス貼等
	設備	キッチン、浴室、トイレ等
	その他	なし
保守管理の状態	やや劣る ※3	
管 理 費 等	管 理 費	13,100 円(月額)(令和 7 年 8 月 14 日現在、以下同じ)
	修繕積立金	10,790 円(月額)
	そ の 他	なし
	滞 納 額	なし
	遅延損害金	なし
専有部分の利用 状況等	建物所有者が占有し、居宅として利用している。	
特 記 事 項	※3 室内は大量の動産類が散乱し、床が確認できない部分も多い。	

第5 評価額算出の過程

本件は区分所有建物であり、買受人が投資用不動産として保有することも社会的・経済的観点から合理的と判断されるので、積算価格と収益価格を求めて、これらを調整して得た価格に基づき、競売市場を前提とした評価額を下記のとおり決定した。

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 建物価格

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて下記のとおり建物価格を求めた。

再調達原価 (円/㎡) ア	現況床面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) エ
410,000	× 65.57	× 0.47	= 12,640,000

ア 再調達原価：一棟の建物の平均単価

イ 現況床面積：固定資産税・都市計画税関係証明書記載の現況床面積(共用部分を含む)を採用。

ウ 現価率：

- ・経過年数約26年、経済的残存耐用年数約29年、観察減価率10%
- ・耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を下記のとおり査定した。

現価率：経済的残存耐用年数 ÷ (経過年数 + 経済的残存耐用年数) × (1 - 観察減価率)

現価率 = 29年 ÷ (26年 + 29年) × (1 - 0.10) = 0.47 (小数第3位を四捨五入)

エ 建物価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

② 敷地権価格

敷地権の目的である土地の敷地権価格を次のとおり求めた。

更 地 価 格		地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	敷地権の割合 オ	敷地権価格 (円) カ
標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ				
1,340,000	×0.95	×880.67	×1.00	×5,959/249,555	=26,770,000

ア 標準画地価格：下記規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して地域の標準画地の価格を求めた。

なお、標準画地は、近隣地域において、土地の概況(間口、奥行、規模等)が標準的な中間画地を想定した。

地価公示 文京-14

$$\begin{array}{ccccccc} \text{(公示地価格)} & & \text{(時点修正)} & \text{(標準化補正)} & \text{(地域格差)} & & \text{(規準価格)} \\ 1,280,000 \text{ 円/m}^2 & \times & 110/100 & \times & 100/100 & \times & 100/105 \\ & & & & & & = 1,340,000 \text{ 円/m}^2 \\ & & & & & & \text{(上三桁未満四捨五入)} \end{array}$$

時点修正：令和7年1月1日から評価日までの推定変動率である。

標準化補正：必要なし。

地域格差：公示地等の所在地域は対象地域に比して、交通接近条件は劣るものの、道路条件と環境条件が優ること等を考慮して、総合の地域格差を判定した。

イ 個別格差：三方路であるが、不整形であることを考慮した。

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：必要なし。

オ 敷地権の割合：登記記載による。

カ 敷地権価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

2 積算価格（敷地権付建物の価格）

建物価格 (円) ア	敷地権価格 (円) イ	価格補正 ウ	個別格差 エ	占有減価修正 オ	積算価格 (円) カ
(12,640,000	+ 26,770,000)	× 1.60	× 0.97	× 1.00	= 61,160,000

ア 建物価格：前記1①エ

イ 敷地権価格：前記1②カ

ウ 価格補正：同一マンション並びに周辺類似のマンション取引水準等を斟酌した補正。

エ 個別格差：階層別補正…0.97 (対象＝3階・基準階＝5階)

位置別等修正…1.00 (角部屋標準)

その他 …1.00 (必要なし)

相乗積 $0.97 \times 1.00 \times 1.00 = 0.97$ (小数第3位を四捨五入)

オ 占有減価修正：必要なし

カ 積算価格：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅱ 収益価格の試算（DCF法による）

目的物件は賃貸借に供されている建物ではないが、その潜在的な収益力を把握するために、賃貸借を想定することにより、収益還元法を適用する。

目的物件を賃貸することにより分析期間中に得られるであろうと予測される有効純収益の現価の合計額に、分析期間末の正味復帰価格の現価を加算して、DCF法(Discounted Cash Flow法)による収益価格を以下のとおり求めた。

但し、当該物件に関する収集可能な資料には限界があり、更に競売による売却後の現実の賃貸借は、特定の当事者間の契約行為によるものであるもので、必ずしも想定した賃貸条件に符合する内容が実現するものではない。

《DCF法による価格査定表》

3年間の有効純収益現価の合計 ア	正味復帰価格の現価					収益価格 ア+カ=キ
	4年目の有効純収益 イ	最終還元利回り ウ	3年目期末復帰価格※1 イ÷ウ×(1-0.03) エ	複利現価率※2 オ	正味復帰価格現価 エ×オ=カ	
(円)	(円)	(%)	(円)		(円)	(円)
4,663,751 (8.1%)	1,832,020	3.1	57,324,497	0.9178	52,612,423 (91.9%)	57,280,000 (100%)

※1 売却に要する仲介手数料等を売却価格（イ÷ウ）の3%と査定した。

※2 複利現価率の計算式

$$1 \div (1 + 2.9\%)^3 = 0.9178 \text{ (小数第5位を四捨五入)}$$

ア 3年間の有効純収益現価の合計：目的物件を賃貸することにより保有期間中（第1期～第3期）に得られるであろうと予測した各期の有効純収益を、複利現価率で現在価値に割り戻した額の合計である。

イ 4年目の有効純収益：保有期間終了後（4年目）の有効純収益である。

ウ 最終還元利回り：4年目の有効純収益から売却予測価格を求める還元利回りであり、標準的還元利回りに対象不動産の個別リスク等を考慮して査定した。

エ 3年目期末復帰価格：4年目の有効収益を最終還元利回りで還元して求めた売却予測価格から対象不動産の売却に伴う仲介手数料相当額等を控除した価格である。

オ 複利現価率：一般市場及び競売市場における類型別収益物件の標準的な還元利回り等を参考に査定した。

カ 正味復帰価格現価：保有期間終了後に得られる正味復帰価格の現在価値である。

キ 収益価格：保有期間中に得られる有効純収益の現在価値と保有期間終了後の売却予測価格の現在価値の合計額で、1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

Ⅲ 評価額の判定

1 試算価格の調整

積算価格及び収益価格を下記のとおり試算した。

積算価格と収益価格はおおむね均衡して求められ、それぞれの方式の特徴を反映した妥当な価格が得られた。本件物件は転売目的のほか、投資目的の需要も期待できるため、両試算価格のほぼ中庸値を採用し、調整後の価格を下記のとおり求めた。

① 積 算 価 格	61,160,000円
② 収 益 価 格	57,280,000円
③ 調整後の価格	59,200,000円

2 評価額の判定

調整後の価格に、市場性修正及び競売市場修正を施し、さらに滞納管理費等相当額並びにその他の控除（敷金等）を考慮して評価額を決定した。

調 整 後 の 価 格 (円) ア	市 場 性 修 正 イ	競売市場 修 正 ウ	滞納管理費等 相当額の減価 エ	その他の控除 (敷金等) (円) オ	評 価 額 (円) カ
59,200,000	×1.00	×0.80	×1.00	—	=47,360,000

ア 調整後の価格：積算価格と収益価格を調整した後の適正価格。

イ 市場性修正：必要なし。

ウ 競売市場修正：「第2評価の条件」欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した修正を行った。

エ 滞納管理費等相当額の減価：滞納管理費等及び代金納付に至る間の管理費等の予想滞納相当額を考慮した修正。本件では必要なし。

オ その他の控除(敷金等)：買受人の引受けとなる敷金等の預り金の控除。本件では必要なし。

カ 評 価 額：1万円未満四捨五入の端数整理を行った。

第6 参考価格資料

地価公示価格（文京－14）

所 在：文京区小石川2丁目19番19「小石川2－9－13」
価 格：1,280,000円／㎡
位 置：東京メトロ南北線「後樂園」駅の北西方約270mに位置する。
価 格 時 点：令和7年1月1日
地 積：335㎡
供給処理施設：水道・下水・ガス
接 面 街 路：東側8.2m 区道
用 途 指 定 等：第一種中高層住居専用地域（建ぺい率60％、容積率300％）
準防火地域
地 域 の 概 要：中層マンション、一般住宅等が混在する住宅地域

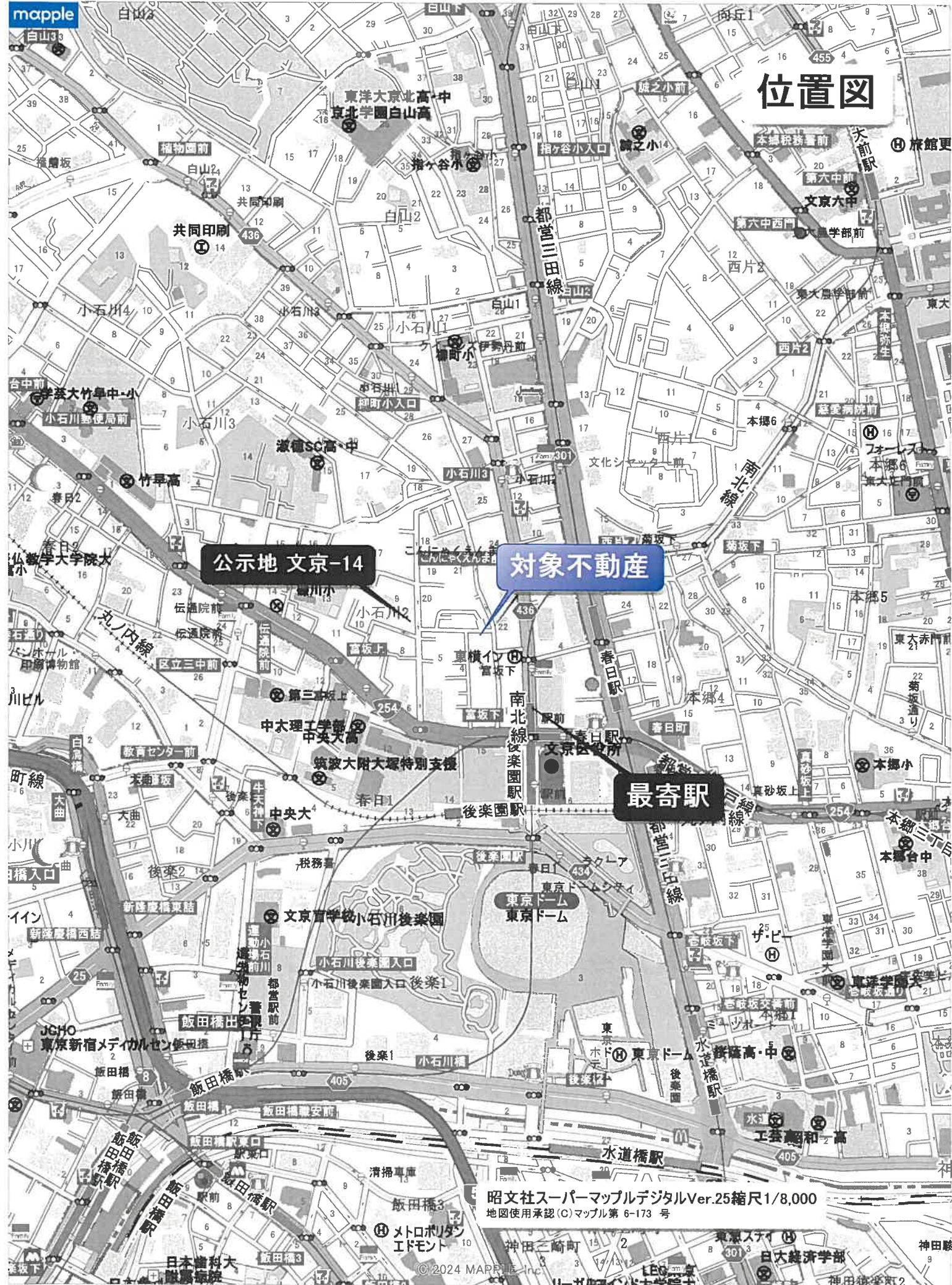
第7 附属資料

位置図
公図写（方位は不正確）
建物図面・各階平面図写

以 上

令和7年9月17日
評価人 不動産鑑定士
野 坂 啓 介

東京都文京区小石川2丁目 付近



1:8,000 相当
地図使用承認(C)マッフル第6-173号

地図上の1センチは約80メートル
印刷中心は 東経 139度45分3秒 北緯 35度42分35秒

公 図 写



$$S = \frac{1}{600}$$

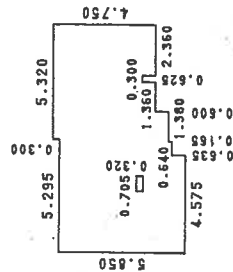


各階平面図

建物図面

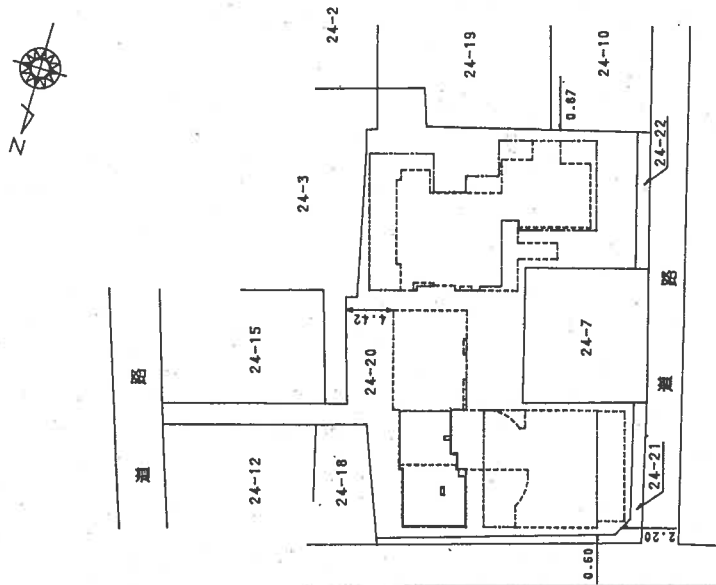
家屋番号
小石川二丁目
24番20の303

建物の所在
文京区小石川二丁目24番地20



求積表	
5.320 × 0.300	= 1.596000
10.615 × 3.825	= 40.602375
7.955 × 0.625	= 4.971875
2.360 × 0.625	= 1.475000
6.595 × 0.600	= 3.957000
4.575 × 0.635	= 2.905125
5.215 × 0.165	= 0.860475
0.705 × 0.320	= -0.225600
合計	56.142250

床面積 56.14㎡



建物番号 303

建物の存する部分 3階

315302

作製者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

本図面はA3版をA4版に縮小したものである。

(東京土地家屋調査士会用紙)